

平成 8 年 3 月 31 日
江別市生涯学習推進協議会
江別市高砂町 24 番地
教育委員会社会教育部参事(生涯学習担当)
☎011-381-1062

えべつ

生涯学習

生涯学習情報紙

だより

小樽山 博 “一人では生きられない”

現代作家シリーズ① 深い感銘を残しおわる

生涯学習講演会

去る 3 月 9 日(土)、市情報図書館におき生涯学習講演会・現代作家シリーズ①として、泉鏡花賞作家小樽山博氏(88)を招き、表題講演会が開かれました。

小樽山氏は、自身の出生から滝上町における幼少年時代、

そして苦小牧工業高校から青春放浪をへて作家として地歩を固める 40 代から 50 代にかけての航路を、私小説の筆法に似た、淡々とした口調で語り継ぎました。

講演なかばから、氏の語る父母の葛藤、高校時代の寮仲間の優しさ、職場での喜びとうつ屈。文章にすると、そのまま珠玉の一篇になろうと思われるほど、感銘深いものであります。

講演なかばから、氏の語る涙を流しつづける聴講者もみかけるほど染みとおわり、約 2 時間、会場(定員 40 人)は時折の笑いのほか、水をうったような静けさに包まれました。



受講者の心に哀歓が染みとおる (円内は小樽山氏)

理論と実践的なノウハウ

第一回生涯学習指導者養成講習会開催

すでに、公民館で活動中のサークル・団体等のリーダーを対象に、指導者として必要な知識や資質の向上、指導力、能力などを高めるための講習会「第一回生涯学習指導者養成講習会」が去る 3 月 27 日(休)中央公民館にて開催されました。

午前中のスケジュールは、主に一般的な生涯学習の理論を中心の内容で、基本的な考え方やすすめ方についての理解を深め、江別市の取り組みなどにも触れました。講義の最後に金澤氏が、『もう「生涯学習って何?」と聞かれても大丈夫ですね』と問いかけると、自信ありげにうなずく方が多く見受けられました。

午後からは、さらに一歩踏み込み、より身近なテーマとして、サークルの生き残り戦略といった実践的なノウハウを盛り込んで講義はすすみました。その一例としては、地域の若いお母さんから入会してもらうためには、「こども連れ可」とする。活動を長続きさせるには、メンバーが役割分担をし責任を持つ、などです。樟山氏の的を射た講義は、受講者が日頃の苦勞を解決するための糸口に十分なりえるものでした。



親しみやすい語り口調の樟山さん

日々楽しむ私の生涯学習



高橋登貴子さん

「生涯学習」といわれて

七、八年になるでしょうか。その時は何の事か解らず字のごとくかなと思っただけでした。

この度原稿を依頼され「第3号」

を読み、私の思っていたとおりである事を確認したところでした。

私の「生涯学習」といえるかどうか解りませんが、中学時代からやっている「卓球」かも知れません。



わーい、できたできた

すぐ上の姉の影響を受け中学からやり、今だにあきることなくやっています。途中、子育てやら転勤やらでとぎれた事もありましたが、友達づくりに大変役立ちました。

若かりし頃は、勝つ事に必死になった時もあり、全道大会にも出場したものでした。

いい汗、いい友

負けて技術のなさにおちこんだりもした

ものです。これも、今では楽しい思い出になっています。

この頃では美容と健康、このままいかに体力を維持していくかにつとめています。いい汗をかき、いい友達ができ

いっぱいおしゃべりをし、勝負にこだわることなく楽しい卓球ができたらいいなあと思っております。



原始林クロスカントリー大会にて

存え果つまで

存え果つまで、人間の精神領域に命の種子を蒔き、育てる、そんな大きな力量を持つた教師を、自分の心に抱え込むのが生涯学習というものであろう。

うものを取り除く事は、いわば銘酒からアルコール分だけを抜きとることに等しいといえる。私はいま「江別文学」という小説の編集長をやっているが、よく市税で発行される市民の文学的啓蒙を目的とする



柴田 正隆さん

雑誌と間違えられることがある。しかし、「江別文学」は文学愛好の江別在住の有志を柱とした當為活動の同人誌なのである。

文学の精神酵母を互いに発酵させ作品の滋味醸成のためと言えば、きこえは良いが、

すが、需要が絶対的に少ない為か、点訳に時間がかかる事もあり、出版物は高価で少ないのが現状です。

心身に障害をもつ人々が、一般社会から隔絶された状態でひっそり生活していた昔からの情報収集、伝達の手段としてこれ

まっ白な文字

違い、大いに

社会に出ていきたきたい、大きなハンディを背負いながら自活し頑張っている方々の為、私達と同じ条件の基で

日常生活が送れるように、今、自分にできる事は何かを考えていかなければならないと思います。点字に限って言えば、ほんの少しの時間を提供してくれる点訳者をふやしていく事。これからの社会を背負っていく子供達に小さい時から点字を通して、助け合いの心を育む為に、身近に点字に触れる機会を作ろうにできたらと思っています。



私達暗眼者が日常使っている文字の他に、視覚障害者の使っている点字のあることはご存知の事と思いますが、実際に見たり、手がけた事のある



吉田 信子さん

方はごく少ないと思う。点字は六ツの点の組合せで構成されているが、まっ白な紙面に広がる点字の世界は無限であり、視覚に代わる指先からの情報収集、伝達の手段としてこれを編み出した先人に

深い感銘をおぼえます。理想は書物が墨で印刷されると同時に点訳本が出版される事で

専門委員会の設置など 組織運営検討部会の報告

去る3月5日、関根正一組織運営検討部会長より、伊藤貢本協議会長あてに、10月以来調査検討を加えてきた検討結果の報告がなされた。今後の本協議会組織運営の根幹に関する重要な内容に触れているので、以下概要を報告する。

組織運営検討部会は、10月30日の第1回部会開催以降、滝川市生涯学習振興会の視察研修をはじめ、前後4回にわたる部会をもち、熱心な検討が重ねられた。

部会を重ねることに、各委員の間における本会の目的、あるいは課題に対する共通認識の深まりをみせ、理事会から付託の三検討事項につき、広汎な論議が行われた。

既報（本紙第3号）のとおり、検討事項は①現在の組織体制について、②会費の徴取および財源確保について、③本会の法人化について、である。いずれも、本会が市民主体の生涯学習を推進する中心

組織として、その役割を十分に果たすためには、克服しなればならない課題である。

部会報告の主な点については、以下に略記するが、これらは理事会に報告され、そこで更に検討が加えられることになる。

- ▼部会構成
- 長 関根正一
 - 副 山田義弘
 - 佐賀井勇
 - 大角恭子
 - 春日基
- (以上委員)



今年も百講座を用意しています。

自主財源

会費徴収の方向を示す

幅広く柔軟に継続検討

検討事項①現在の組織体制については、執行機関である理事

会のなかに、副会長、理事をもつて構成する専門委員会の設置の必要性を強調している。

理由は、理事会は構成員も多く、かつ年間開催数も限られているため、理事会の決定事項の具体的な展開については専門委員会にゆだねることが実際的であるというもの。

専門委員会は、組織運営などに関するものを処理する総務委員会、事業の企画や執行などに関するものを行う事業広報委員会の設置を求めている。更に、同委員会の中に小委員会を設けて事柄を処理することも妥当としている。

に接して感じることは、人々の学習需要が変化してきていること。人々が大学に望むものは多様化し、同時に高度化してきております。

私どもは、生涯学習を広義にとらえ、時代のニーズをふまえた生涯学習メニューの提供を行うことにより、江別市の各団体の皆様、市民の皆様と共に生涯学習社会を築いていきたいと考えております。

皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

（連絡先）

浅井学園オープンカレッジ
☎387-13939

会員のプロフィール③

浅井学園オープンカレッジ

阿部 典英 (AOC校長)

浅井学園オープンカレッジ（略称AOC）は、平成三年、北海道女子短期大学内に開設した生涯学習機関です。

オープンカレッジとは、大学の頭脳・機能・施設設備をあげて、学歴・年齢・性別に関わらず、学ぶ意欲のあるすべての方に、生涯学習の機会を提供する学習機関のことです。大学等の公開講座の機能、カルチャーセンター（文化教養）的機能、ライセンスセン

ター（資格取得）的機能などを合わせ持った総合学習機関といえます。

従来のカルチャーセンターとは異なり、学校の施設を利用して

地域に開かれた生涯学習の場

用して行うため、学生と一般市民が共に机を並べて学ぶことが大きな特徴です。設立以来、受講者数もすでに六千名

「プロ検定取得講座」など、バラエティに富んだ講座を計画いたしております。

開設以来、受講者の方と直

市民がつくるまちのれきし

えべつの歴史(創刊号)

A5判、80ページ、定価500円
市役所地下売店で発売中です。

第30回造本装幀コンクール・入賞
第38回 JaGra文化典特別賞受賞

えべつ昭和史

1冊5,000円

残部僅少お早目に市役所地下売店
でおもとめください。☎382-4141



私の宝物

息子の鎧
中村英造
(大麻・歯科医院長)

いつ頃から実家にあったのかは不明だが、物心がついた頃には、すでに客間の一部を占やし回りを見下ろし家の者たちを威圧していた。



亡くなった父の話によると祖父の代からの物で、分家するとき形見にもらった中の一品らしく、戦時中も食糧と交換せずに持ち続けていた。私たち兄弟四人には近づき難い恐怖の代物で成績の悪い時、嘘をついた時、兄弟喧嘩、寝小便をした時など必ずと言っていい

ほど鎧の前に座らせられた。昭和三十七年、私の長男が生まれた時、強い子になるよう守り尊として埼玉県の川口から送って寄こしたものである。亡父の本家は栃木県烏山

江戸時代前半に作られた物らしく、製作者は誰か、いずこの武士が着用した鎧か、皆目見当がつかないが、鎧と共

に生きた私にとっては家の歴史と親子の大切さを教えてくれる貴重な物である。

町で先祖代々、藩の「刀工」を正業としていたらしく、古い土蔵の中には刀、鎧、槍、などが暗い所に置かれていたのを覚えている。

「立ち若荷」の紋に拵の模様から見ると、関東の武士、侍大将の持ち物ではないかとある識者は教えてくれた。このように不明な点が多いだけに私にとつて、ふつふつと湧く空想は、なんとも言えない心地良さを感じさせる。

市内学習ポイント二回目は、江別市陶芸の里「セラミックアートセンター」です。

雄大な野幌原始林の懐に位置する同センターは、やきものコレクションをテーマにした道内唯一の展示館。小森忍をはじめ、数々の陶芸家の優れた作品はもちろん、独自のテーマの企画展も開催。また、美術品だけでなく、セラミックなどの新分野などについても

講座・教室も多数開催。レンタル工房も用意。実際に作陶体験ができます。

「やきもの」のまち江別。陶芸愛好家のみならず、江別市民として必須な知識が楽しく学べます。

《所在地》
西野幌一四一五
☎385-11004

※月曜休館
観覧料 高校生以上3000
観覧料 小学生 2000



会員の募集

江別市生涯学習推進協議会では、加入団体を募集しております。設立一周年の節目を迎え、今後の活動充実のためには、市内各団体のお力添えが欠かせません。詳細につきましては下記までお問い合わせください。

〈事務局〉
江別市教育委員会社会教育部
参事(生涯学習担当)

☎381-1062

いっしょにやりませんか

〈江別ばけ老人を支える会〉
老人ばけの正しい理解と、ばけをみんなで支えていく世の中をつくることを目指して活動しています。会の趣旨に賛同し、ご協力いただけるボランティアを募集しています。詳細は事務局☎387-5657(水・木)まで。
〈江別ファミリーサービスクラブ〉
困ったときに簡単な家事サービスなどを会員同志で助け合おうというクラブです。家庭にいる方も、働いている方もどうぞ。詳細は事務局☎387-6673まで。

活用してみませんか 学習事業の充実と発展

ガイドブック

前号でお知らせした学習ガイド「江別市生涯学習ガイドブック」事業・指導者編」が三月末発刊されました。

〈事業編〉

◆平成七年度、主に市内で開催された教室・講座・展示発表会・相談・イベントなど約四五〇件を収録。

◆文化・スポーツ・生活など幅広い分野での一般市民参加型の事業。

◆実際に参加する場合、団体・サークル等の事業計画を立てる場合の参考として利用できます。

〈指導者編〉

◆市内で指導可能な指導者、延べ約五五〇件を収録。

◆文化・スポーツ・生活など幅広い分野での指導者を指導内容別に分類して掲載。

◆団体・サークル等の事業・行事実施の場合の資料として利用できます。

右の内容で、一〇〇ページ程の一冊の冊子としてできあがりしました。さっと目を通して眺めるだけでも、なにか発見できるようなものをと、一覧表形式中心にまとめました。

編集後記

皆様に支えられ、本紙も創刊1周年を迎えることができました。日に日に近づく春の足音を感じながら、編集者一同はりきっております。

今後ともご愛読のほどをお願い申し上げます。